

様々な取組で農業を支援しています。

キラリ久留米（久留米の農産物）

久留米市では、本市が誇る新鮮で安全・安心な農産物の目印として、「キラリ久留米」ロゴマークを農産物に貼付する取組を行っています。

現在では、段ボールや野菜の包装フィルム等多くの品目に使われており、道の駅くるめをはじめとする市内の農産物直売所や、関東・関西の大消費地へ出荷されています。ロゴの普及と活用を進め、久留米産農産物のPRや消費拡大に取り組んでいきます。



6次産業化支援

久留米市は、農業などが生産した農産物を自ら加工、販売する「農業の6次産業化」を推進するため、農産物を使った商品開発や、加工設備への投資、販売先の確保などに必要な資金の一部を助成します。

また、農業者などが新たな技術力などを得て、商品の開発をするきっかけとなるように、6次産業化の専門家や商工業者などとの交流会を開催しています。



ふるさとくるめ農業まつり

農業・農村への市民理解の促進や、生産者と消費者の交流による相互理解の促進を目的に、毎年11月の2日間、「ふるさとくるめ農業まつり」を開催しています。

県内最大の農業生産都市である久留米市の豊かな農産物の即売とともに、参加型の体験コーナーなどが充実しています。多くの来場者で賑わい、本市の豊かな農業を市内外に広くアピールする一大イベントとなっています。



地産地消の推進

地産地消とは、久留米産の農産物を久留米で消費することです。消費者と生産者が結びつき「顔が見え、話ができる」関係を作り、久留米産農産物の消費拡大を進めています。

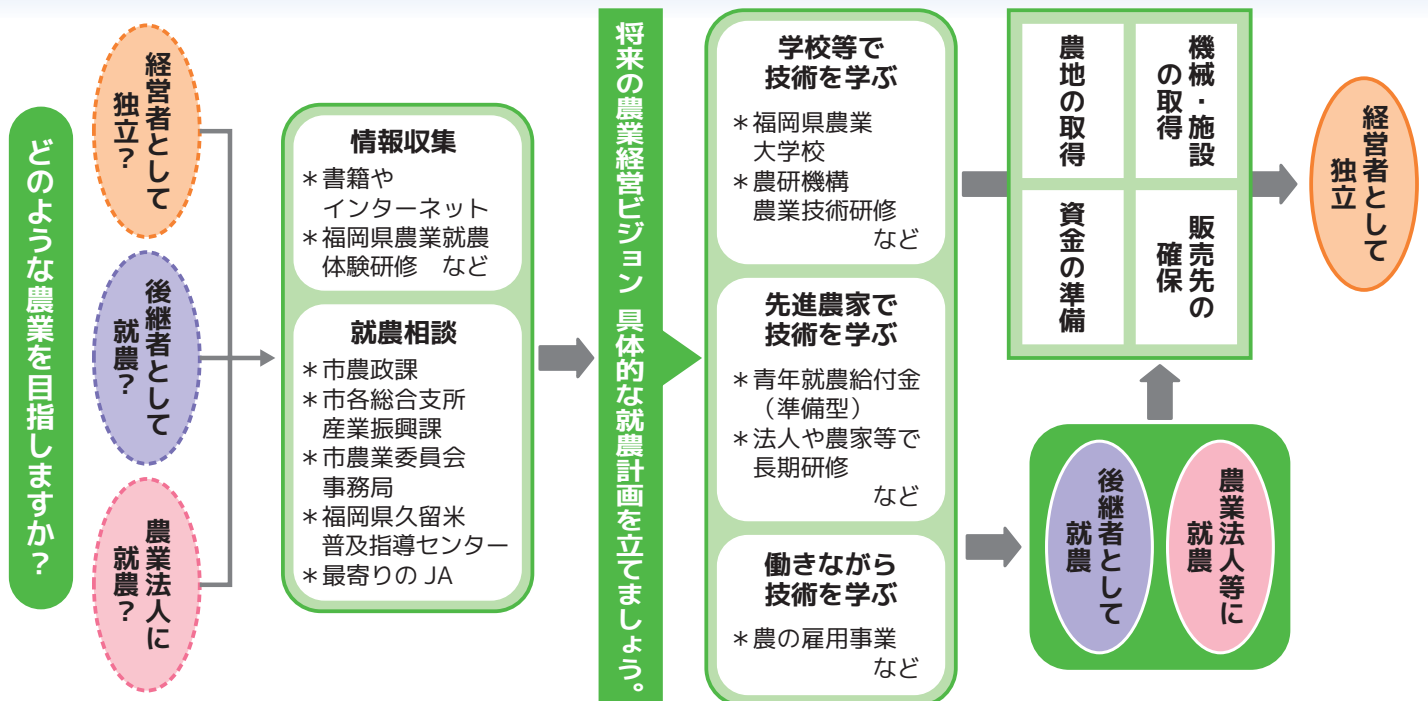
地産地消の取組の一つとして、久留米産の農産物を積極的に販売・活用している店を「地産地消推進店」として登録し消費者に紹介しています。平成26年3月末現在で直売所や飲食店など353店舗が登録されています。



食べてにっこり
お米のマークが目印です。

就農までのイメージ

●久留米市では、職業として農業を始めたいと考えている方の就農を応援しています。まずは、自らの農業経営ビジョンをしっかり持つことが重要です。市農政課、各総合支所産業振興課、農業委員会事務局、福岡県久留米普及指導センター、最寄りのJAがお手伝いします。



《くるめの農業2014》では、

農業を職業として選択し、魅力ある農業を展開している、「若手農業者」や「農業法人の経営者」、「若手農業者の団体活動」などを紹介します。